

1	事業名称	家族で入笠山ハイキング				
2	新規・継続	継続	8年目			
3	趣旨	幼児、低学年児童をもつ家族が、入笠山ハイキングや信州高遠青少年自然の家での自然体験活動を行うと共に、子どもへの接し方や様々な体験活動の重要性に気づき、他家族との交流を通して親同士のネットワークの構築を図る。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	6月4日(土)	～	6月5日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家、入笠山				
6	募集人数	80人				
7	共催・後援・協力	後援：富士見町、協力：富士見パノラマスキー場				
8	参加者人数	68人				
9	参加者類型	中学生以上（33人）、小学生（17人）、小学生未満（18人）				
10	参加者地域	長野県（31人）、山梨県（9人）、愛知県（19人）、東京都（2人）、静岡県（2人）、三重県（3人）、埼玉県（2人）				
11	参加者分析	長野県内だけではなく、山梨県、東京都、埼玉県からの参加もあった。また、愛知県をはじめ東海地方からの参加も今回は多かった。県内はチラシ、県外はインターネットで参加を決める傾向の中で、新聞を見て参加を決めたという家族が東海地方では多い。小学生未満の子供の割合が子供全体の5割を超えた。増加傾向にある。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		95%	5%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児だが、山頂コース・ゴンドラコースすべて歩くことができた。子供と一緒に歩けば無理なく行くことができ、達成感を味わった。 ・読み聞かせの本は、大人が読んでもいいなあと思う本だったので、子供も大人も一緒に楽しめた。 ・初めて参加したが、子供も大喜びだった。いろんな年代の子と触れ合い、自然に親しむことができてよかった。また参加したい。 				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・家族でのハイキングを通して、自然の恵み、豊かさ、雄大さを感じることができ、幼児期に自然体験活動をする事の重要性に気づくことができたと考えられる。 ・施設での家族間交流を行うことにより、子供への関わり方や読書活動の大切さについて考えることができたと思われる。また、同年代の子供を持つ家族同士の交流も行われ、子供だけでなく親同士でもコミュニケーションの大切さや楽しさを実感できたと思われる。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遠方からの参加者は、朝早く弁当を作ってからの参加になり大変だという意見がでた。今後は、1日目の弁当を注文制にするなど、参加者のニーズに応じた対応が必要である。 ・6月の第1週末が湿原の植物の開花時期だったため、草花を比較的多く見られたのはよかったが、梅雨に入る時期なので、天候が心配である。 				

(担当: 田中 郁夫)

日程・時間	プログラム
1日目	
10:20~10:30	開会行事 10:40 バス乗車
11:40~14:40	入笠山ハイキング (御所平峠登山口までバスで移動, 入笠山山頂往復し, 入笠山湿原へ)
14:40~16:10	ゴンドラリフトで富士見パノラマスキー場山麓駅に下り, そこからバスで帰所。
19:20~20:15	家族交流会 アイスブレイク, 大型絵本の読み聞かせ
2日目	
9:30~11:00	室内レクリエーション「ミニ運動会」(親子の絆リレー 玉入れ 等)
11:20~11:30	閉会行事



がんばるぞー！



大型絵本の読み聞かせ



スズランが満開！



家族でアイスブレイク



入笠山山頂にて



力を合わせて親子の絆を深めることができた！